

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2919

科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催 方法	□対面（ ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				■その他（未定）	
	正式科目名 副題	会計学		配当年次	2・3
				受入学年	
	学問分野	番号	24	名称	社会科学系 商学・経営
3. 担当教員名	池村 恵一				
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	後期集中	
6. 開講期間 曜日・時間	2023 年 2 月 ※調整中 曜日 : ~ :				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>会計は、企業が行った取引を項目と数値に置き換える道具として捉えることができます。項目と数値に置き換えられた企業取引は、会計情報として財務諸表に掲載され、投資家などのさまざまな利害関係者の意思決定に役立つと考えられています。この授業では、会計のうち、とくに投資家のような外部利害関係者の意思決定に役立つとされる財務会計の基本的な考え方を学んでいきます。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸借対照表や損益計算書を支える基礎概念を理解することができる。 ・貸借対照表や損益計算書の主要な科目と数値の意味を理解することができる（財務諸表が読めるようになる）。 <p>【授業の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会計学イントロダクション-会計領域を俯瞰して論点を把握する 2 企業会計と利害関係者-2大領域としての財務会計と管理会計 3 簿記一巡の手続-仕訳から財務諸表の作成まで 4 貸借対照表と損益計算書の役割-財政状態と経営成績の表示 5 資産の会計①-資産の考え方 6 資産の会計②-流動資産および固定資産 7 負債の会計①-負債の考え方 8 負債の会計②-流動負債および固定負債 9 純資産の会計①-純資産の考え方 10 純資産の会計②-株主資本の考え方 11 損益計算の基本原則①-収益と費用の考え方 12 損益計算の基本原則②-発生主義会計 13 財務諸表の表示内容-読み方を学ぶ 14 日本の制度会計の体系-金融商品取引法会計、会社法会計、税法会計 15 これまでのまとめ-定期試験に向けて 				
11. 試験・評価方法	課題 30%、定期試験 70%				
12. 別途負担費用	<p>テキスト： 新井清光・川村義則. 『新版 現代会計学 [第3版]』中央経済社. ※授業ではテキストを要約したレジュメを配付します。テキストは集中講義が開講される前 にある程度読み込んでおくこと。 ※最新版が発売されていたらそちらを購入してください。</p>				
13. その他特記事項	<p>参考文献： 桜井久勝. 『財務会計講義 第21版』中央経済社. ※最新版が発売されていたらそちらを購入してください。</p>				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。